

特集 ライトノベル(王道)

キノの旅 —the Beautiful World— 既刊21巻

しぐさわ けいいち
時雨沢 恵一/著 メディアワークス 電撃文庫

主人公の周囲で何かが起こり、心とした行動が日常を変える。そんな世界観もライトノベルの王道の1つだと思います。

『キノの旅』は、旅人のキノがモトラドのエルメスと共に色々な国を旅するお話。キノと出会うことで動きだすセカイ、キノが訪れても何も変わらないセカイ。たくさんのセカイの形をキノたちと一緒に旅してみてください。

(各巻、趣向を凝らしたあとがきもオススメです。)



トリアキオン 覇者の三剣

とづき
十月 ユウ/著 富士見書房 富士見ファンタジア文庫

ライトノベルの王道といえば、剣と魔法と学園モノだと個人的には思っています。

『覇者の三剣』は異形の敵と戦う戦士を育成する学園が舞台。

戦うことを運命(さだめ)られた少年たちの絆と覚悟の物語です。

(漢字にカタカナの振りがついているのもライトノベルの特徴かも?)

ライトノベルって?

『ライトノベル』の定義に明確な基準はありませんが、いろんな種類があります。イラストがあって読みやすい本も多いので、この機会に是非読んでみてください!



テイルズ オブ ヴェスペリア Tales of Vesperia 全4巻

岩佐 まもる/著 バンダイナムコゲームス/原作 角川書店 角川スニーカー文庫

多くの人気を誇るテイルズシリーズ。その1つを紹介します。

この世界では、魔導器という機械が生活を支えています。主人公のユーリは下町出身の元帝都騎士団でした。しかし、その騎士団の腐敗ぶりに失望し、脱退をします。下町に戻り気ままに生活をしてきたある日、水道魔導器に付いていた魔核が盗まれてしまいます。事件の解決のためにユーリは動き出しますが、この事件は魔核の盗難事件という簡単なものではなく…。

夜と会う。 既刊3巻

あおつき かいり
蒼月 海里/著 新潮社 新潮文庫 nex

普段何気なく過ごしている夜にみなさんはどのような印象を受けていますか?

この作品は親の敷いたレールを歩まされている主人公の滯音が、ある日喫茶店のマスターである小野寺と出会い不思議な警告を受けます。

その夜、滯音は夢の中で“夜”という異形と遭遇します。その“夜”は人々の不安や絶望から生まれたものだという話を、夢の中で滯音を一方的に知るイザヨイという人物から聴き、“夜”の退治に巻き込まれ…。

この本を読んだ後は不思議と心があたたかくなるようなそんな気がします。みなさんも是非、手にとって読んでみてください。